スリップフォーム

2014 年
第 31 号

東九州道（鹿屋～曽於）細山田地区舗装工事

■ 本号の主な内容

○コンクリート防護柵の普及に向けて
プレキャスト・ガードフェンス協会
会　長　　荒川　崇
○ SF 工法により震災荷積場を早期復興へ
大船渡港茶屋前地区埠頭用地他災害復旧工事
○新東名高速道路愛知県区間、舗装工事の取り組み
新東名高速道路豊田舗装工事現場見学会
○東九州自動車道　連続鉄筋コンクリート舗装
○連続鉄筋コンクリート舗装見学会
鳥取県生コンクリート工業組合
○近畿地方整備局における
スリップフォーム工法の大型採用
○国道バイパス工事におけるスリップフォーム工法の浸透
○スリップフォーム工法による大規模メガソーラー発電所
アレイ施工
○日本スリップフォーム工法協会第 22 回総会

JSF

日本スリップフォーム工法協会　機関誌

コンクリート防護柵の普及に向けて

プレキャスト・ガードフェンス協会
会　長　荒川　崇（たかし）

プレキャスト･ガードフェンス（以下、PGF という）の 2013 年度の施工実績は、国土交通省九州地方整備局発注の東九州自動車道を中心に 33,092m と 2012 年度の施工実績である 22,099m に引続いて全国各地で多くのご採用を頂き、平成 2 年の PGF 協会設立以来、過去最高の実績を得るに至りました。これも発注者様や施工業者様を始めとする関係各位のご指導とご支援によるものと深く感謝を申し上げます。

PGF は、予め工場で製作されたプレキャストブロックを PC 鋼材によってプレストレスを導入し一体化していることが最大の特徴であり、これによりプレキャストブロックの連続性の確保やひび割れの抑制、車両衝突時における PC 鋼材の反発張力による残留変異の抑制等の効果があるとともに、防護柵断面の薄肉化も実現しています。PGF 協会としては年間 10,000m 以上の施工実績を目標に活動していますが、近年では中央分離帯、路肩、壁高欄といった従来の基本タイプに加え、盛土区間における補強土壁の天端に設置する在来工法（現場打ち）により築造されていた防護柵をプレキャスト化する等の取組みにより、2014 年度については既に目標以上の見通しが立っている状況にあります。またこれから東北地区の復興関連道路の整備事業が本格化する中で、橋梁部やトンネル部等で採用いただけるよう PR を強化していきたいと考えています。今後の PGF 協会としての重要課題として、特にこの 2、3 年は橋梁部での PGF の使用に関する問合せを多く頂いており、既設橋の壁高欄の取り替え需要が見込まれていることと合わせて PGF の普及を図っていきたいと考えています。そのため、必要に応じて静的載荷実験若しくは実車による衝突実験等による安全性の確認を予定しています。

技術開発におきましては、2013 年度から暫定二車線道路の中央分離帯で使用可能な PGF の開発を進めています。暫定二車線における上下線分離構造はラバーポールによるものが一般的ですが、対向車線への逸脱が後を絶たない状況にあります。暫定二車線道路の安全対策につきましては、道路管理者の関心も高いことから PGF 協会として開発に着手し研究開発を行っている状況にありますが、プレキャスト製品のメリットが活かせる可能性を感じています。従来の PGF に比べると様々な制約があるものの、地方には多くの暫定二車線道路があり、これにマッチしたプレキャスト製品を開発出来れば大きな市場が拓けるものと考えており、2014 年度中には仕様を決定し、実験により性能の確認を行う予定です。

このように PGF 協会としましては、前述しました既設構造物の取り替えや供用中の道路での工事といった条件下において、プレキャスト製品のメリットを活かせる市場を開拓させて頂きますと共に、プレキャスト製品には無い優れた特性を持つスリップフォーム工法との適材適所での採用によりコンクリート防護柵の普及が図られ、我が国の道路交通における安全性の向上に寄与し社会の要請に貢献できるよう努めて参ります。

結びにあたり、スリップフォーム工法の更なる普及と貴協会の今後の益々のご発展を心より祈念しております。

SF工法により震災荷積場を早期復興へ

1．はじめに

岩手県大船渡港は、国の重要港湾として利用されてきましたが、東日本大震災により地盤が 1.5m も沈下し、使用できない状況であったため、早期復興が望まれていました。本報は、この災害復旧工事にスリップフォーム工法を採用したコンクリート舗装の事例を紹介致します。

2．工事概要

工事概要を表に示します。

3．施　工

当該工事の当初設計は、セットフォーム工法によるコンクリート舗装となっていました。しかし、荷積場の早期利用再開と、施設を運用しながらの施工形態であることから、自走が可能で移動が容易なスリップフォーム工法の採用を検討し、発注者の承諾を得て設計変更し施工を行いました。

スリップフォーム工法を採用することにより、震災関連事業で逼迫している労務、型枠資材、ダンプトラック等の不足を補うとともに、大幅な工程短縮を達成することができました。

また、3DMC による情報化施工を活用することで、センサーロープの設置を省略し、省力化を図るとともに、良好な品質・出来形を確保することもできました。

しかし、多くの災害復旧工事が実施されていた関係上、他工事への生コン出荷のため、生コン供給の問題から打設が不可能となる等の課題も発生しました。この対応として、生コン工場の協力を得た綿密な搬入計画の策定、コンクリート打設各工種の作業の効率化・省力化・平準化、作業員の適性配置等を図り、当初計画を上回る日施工量とすることができました。

工　事　概　要

工事名	大船渡港茶屋前地区埠頭用地他災害復旧工事
発注者	岩手県県土整備部港湾課
施工場所	岩手県大船渡市大船渡町地内
請負者	大成ロテック㈱・㈱佐藤渡辺・㈱佐賀組 JV
施工時期	工期：平成 25 年 3 月 7 日～平成 26 年 8 月 施工：平成 25 年 8 月～平成 26 年 6 月
施工数量	コンクリート舗装（SF）A ＝ 78,526m^2 その他工事　1 式

	幅 員 m	延 長 m	打 設 時 間	時間当り 施工延長 m/h	備　　考
標　準	5.0	144	6h（9:00 ～ 15:00）	24	
本工事	5.0	275	9h（8:00 ～ 17:00）	31	SF 機 2 台使用

4．おわりに

大幅な工期短縮で完成し、さらに発注者からの高い評価を得ることができたのも、スリップフォーム工法のおかげだと考えています。今、振り返ると、「もし、この工事で SF 工法が採用されなかったら、今頃はまだコンクリート打設の真最中で、毎日必死に汗をかいていたかもしれない」と、考えただけでも恐ろしくなります。

スリップフォーム工法、最高！

（大成ロテック株式会社　大川英樹）

新東名高速道路 愛知県区間
舗装工事の取り組み

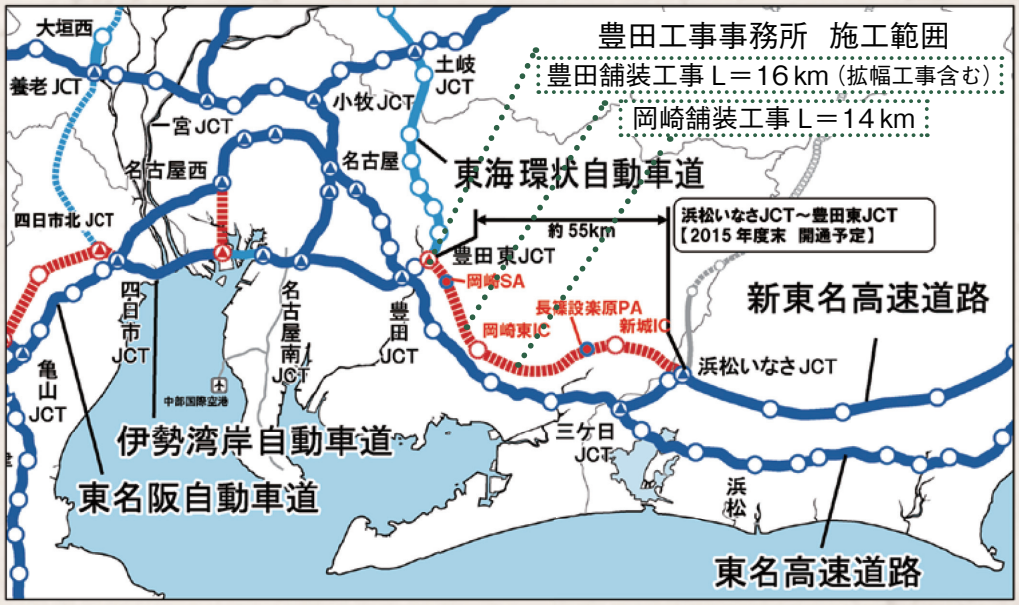
中日本高速道路株式会社

名古屋支社　豊田工事事務所　舗装工事長

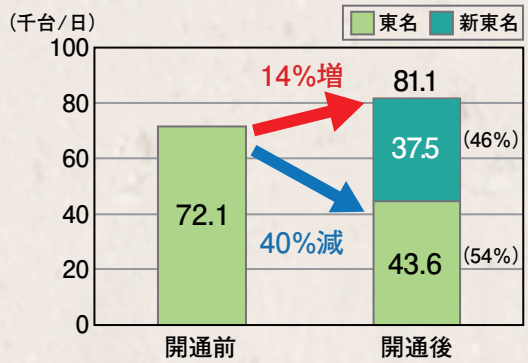
水野　　篤

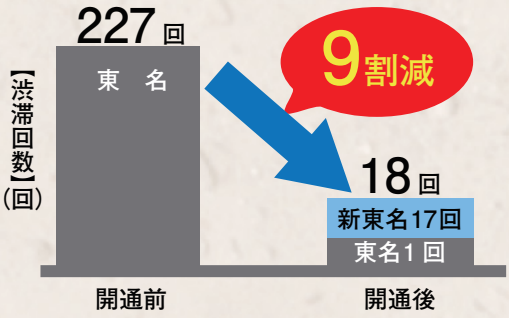
新東名高速道路　愛知県区間の建設事業概要は、平成 17 年に開通した伊勢湾岸自動車道、東海環状自動車道へ、平成 24 年に開通した静岡県区間を延伸し接続する事業になります。

施工延長約 55km を、豊川工事事務所は静岡県接続部より約 30km、豊田工事事務所は愛知県側寄り約 25km を担当します。



新東名高速道路の開通に伴い、静岡県内における現東名高速道路と併せた全体交通量は、約 14%の増加になり、現東名高速道路の交通量は約 40%、渋滞回数は 90%の減少効果がありました。





（出典：国土交通省中部地方整備局、中日本高速道路㈱「新東名インパクト調整会議」）

また、新東名高速道路の大型車の平均移動距離は約 310km である一方、現東名は約 190km から 140km に減少し、移動距離の長い通過交通の、新東名高速道路への転換も判明しました。

以上の結果より、非常に整備効果が高い新東名高速道路の静岡、愛知県間が、今回の建設事業をもって全通します。

豊田工事事務所管内の舗装工事は、「岡崎舗装工事」、「豊田舗装工事」で行い、「岡崎東 IC」、「岡崎 SA」の舗装も施工します。両工事とも、静岡県区間での実績を踏まえ、更なる品質向上を目指すものとして取り組みます。

①コンクリート打設時期に左右されず、安定したワーカビリティーを確保するため、高機能型 AE 減水剤を使用。

②確実な湿潤状態の保持のため、浸透型養生材を使用し、養生マットは目視で判断できる製品を使用、湿潤養生期間を通常の 1.5 倍延長し、7 日間とする。

③ダウエルバー及びネジ付タイバーは、エポキシ加工した鉄筋を使用する。

今回の舗装工事も、静岡県区間と同様に、「コンポジット舗装」構成により施工します。

「連続鉄筋コンクリート舗装」につきましては、大規模なコンポジット舗装施工という事もあり、「コンクリート防護柵」の施工と併せて、「スリップフォーム工法」を採用する事により、施工性はもちろんの事、現場での「品質管理体制」、「施工管理体制」にも大きな期待と成果を期待しています。

新東名高速道路 豊田舗装工事 現場見学会

新東名高速道路豊田舗装工事の SF 工法による連続鉄筋コンクリート版の施工現場見学会が 2014 年 10 月 7 日に大成ロテック㈱により開催されました。今回の見学会は建設中の新東名高速道路岡崎 SA からやや西に位置する群界川橋付近で行われました。

見学会は協会員を中心に約 50 名の参加がありました。参加者は 12 時に名古屋駅に集合し、施工現場を見学した後、現場事務所に移動して説明を受けました。

施工現場ではミキサ車で運搬されたスランプ 3.5cm の生コンを荷卸しし、ゴメコ社製コマンダーⅢニュージェネレーションで版厚 28cm の連続鉄筋コンクリート版の施工を行っていました。

現場事務所での説明会では SF 工法協会の藪田英俊会長が「大きな現場であれば SF 工法の優位性が発揮できます」と SF 工法の特長を述べ、「みなさんのご意見をいただいて技術の改善に努め、さらなる普及につなげたいと思います」とあいさつしました。続いて現場代理人の山本所長から工事の概要や進捗状況などの説明がありました。質疑応答では 1 日の最長施工距離や生コンの品質などについて、参加者から活発な質問がありました。

東九州自動車道
連続鉄筋コンクリート舗装

はじめに

東九州道にて、連続鉄筋コンクリート舗装の施工を行いました。

今回は、鹿児島で４工区、大分で１工区の施工を行ったのですが、最大の特徴は１工区の打設日数が短い。多いもので４日、短いもので２日程度しかなく実際は打設している時間よりも機械の組立・解体と運搬をしている時間の方が長い様なサイクルとなりました。

施工状況

とにかく打設日数が少ないので失敗すると取り返しがつきません。しかも複数工区ありますからプラントも複数ありますので、コンクリートの性状管理には特に気を遣いながらの施工となりました。

そして、コンクリートより気を使ったのが天気です。明かり部の施工の為、雨は大敵です。打設中はコンクリートを見ながら時々空を見上げる。また、コンクリートを見る。その繰り返しです。幸い冬季の施工でしたのでそれほど雨が降ることも無く、終了することが出来ました。

よくスリップフォーム工法の特徴として、省人力・低コスト・施工スピードの速さ等々がクローズアップされますが、準備期間の短さも大きな特徴だと感じました。

今回、現場～現場まで４日間にて移動を繰り返して施工をこなしました。ある業者さんからは一体機械何台持ってるの？と言われるほど国道269号線を移動しまくりました。実際は１台しか持ち込んでないのですが…このフットワークの軽さも大きな武器であると今回改めて実感した次第です。

平成25年度完了工事

工　事　名	数量（m^2）	厚さ（mm）	受注業者
東九州道（鹿屋～曽於） 岩川地区舗装工事	5,210	250	東亜道路工業㈱
東九州道（鹿屋～曽於） 野方地区（第２工区）舗装工事	5,180	250	㈱NIPPO
東九州道（鹿屋～曽於） 細山田地区舗装工事	4,408	250	㈱NIPPO
東九州道（鹿屋～曽於） 塗木地区舗装工事	4,960	250	㈱ガイアートT・K
東九州道（佐伯～蒲江） 三軒屋地区舗装工事	4,790	200	小田開発工業㈱

平成26年度完了工事

工　事　名	数量（m^2）	厚さ（mm）	受注業者
東九州道（鹿屋～曽於） 郷ヶ迫地区舗装工事	7,864	250	東亜道路工業㈱
東九州道（鹿屋～曽於） 後迫地区（第１工区）舗装工事	5,780	250	日本道路㈱
東九州道（鹿屋～曽於） 大谷地区（第２工区）舗装工事	8,470	250	東亜道路工業㈱
東九州道（鹿屋～曽於） 立小野地区舗装工事	7,300	250	鹿島道路㈱
東九州道（清武～北郷） 猪八重地区舗装工事	10,570	200	㈱ガイアートT・K
東九州道蒲江トンネル 北工区舗装工事	14,500	200	河津建設㈱

最後に

この記事が掲載される頃には同じ場所で、生コンよりも空を見上げている時間の方が長い施工をしているはずです。この様な発注状況にも対応し、引き続きスリップフォーム工法が採用されることを切に願う次第です。

（ケイコン株式会社　山内博一）

連続鉄筋コンクリート舗装　見学会

鳥取県生コンクリート工業組合

写真－１　「縦取り機」を使用した施工状況

写真－２　コンクリート打設状況

１．はじめに

鳥取県生コン工業組合の主催で、連続鉄筋コンクリート舗装の現場見学会が「駟馳山（しちやま）バイパス海士（あもう）舗装工事」（鳥取県鳥取市福部町；一般国道９号駟馳山バイパス）で開催されました。

見学会の狙いとして、舗装の長寿命化、高耐久性・耐候性、環境保全の観点から「コンクリート舗装」が見直されており、大型施工機械を用いた大規模な新設現場が予定されていたことから「コンクリート舗装」の普及と施工技術の理解のために立案されました。

現場見学会の対象者として、道路管理者やコンクリートの製造者、地元ゼネコン等の参加を想定して実施しました。

２．工事概要

本工事は、一般国道９号駟馳山バイパスの新設工事であり、コンクリートの舗装版厚が 25cm ありました。

コンクリートの供給については、「縦取り機」を使用し、明かり部で連続鉄筋コンクリート舗装の施工を行いました。

工　事　概　要

工事名	駟馳山（しちやま）バイパス海士（あもう）舗装工事
工事場所	鳥取県鳥取市福部町海士地内
発注者	国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所
施工時期	平成 25 年 12 月～平成 26 年 1 月
施工数量	連続鉄筋コンクリート舗装　9,040m^2 （L ＝ 909m、W ＝ 8m、t ＝ 25cm）
請負者	福田道路株式会社　中国支店

３．見学会の様子

【見学会の概要】

・日　時：平成 25 年 12 月 17 日（火曜日）
　　13：30 ～ 15：00
・説　明：概要説明・現場見学・質疑応答
・参加者：約 30 名
　　（鳥取県・生コンプラントの担当者など）

見学会では、大規模な明かり部での連続鉄筋コンクリート舗装の施工は少なく、見学する機会もなかったため概ね好評でした。今後とも「連続鉄筋コンクリート舗装」の普及に努めます。

（福田道路株式会社　石水　誠）

写真－３　見学会の状況

写真－４　当日配布した見学会の資料

近畿地方整備局における

スリップフォーム工法の大型採用

従来、近畿地方整備局では、スリップフォーム工法での発注は極めて少なく昨年度以前における実績は施工承諾や設計変更が主で、一部　和田山・八日道路等が散見されるのみでした。

今年度になり丹波綾部道路や近畿自動車道紀勢線おきましてスリップフォーム工法よる施工で、円形水路やＬ型街渠あるいは連続鉄筋コンクリート舗装が設計に組み込まれ発注になりましたので紹介申し上げます

◇

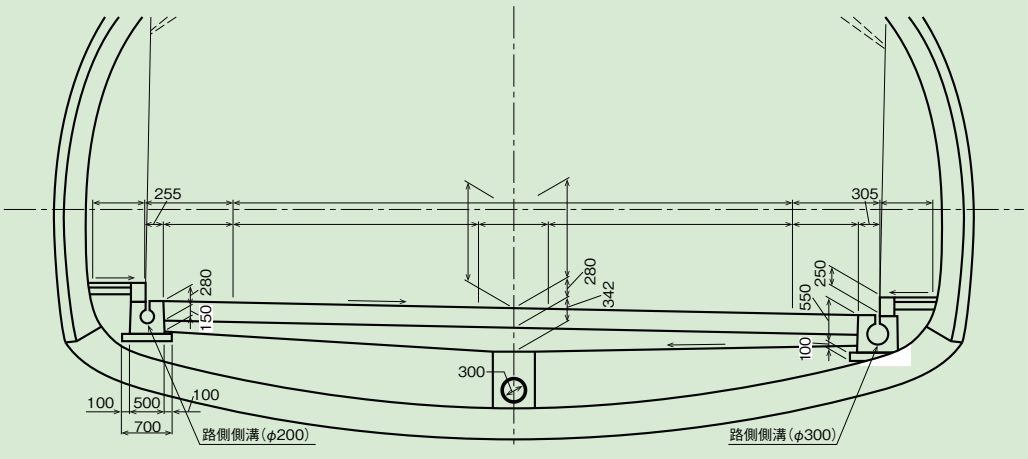
丹波綾部道路の開通までの工程は、トンネルを掘削しているゼネコンからの引き渡し時期と発注者が目指す開通時期の期間が短く、発注された舗装工事の工期短縮の観点からスリップフォーム工法が有効に働くのではないかと考えています。

また、先に述べた紀勢線に関しても、来年度開催の和歌山国体に向け、工期の無い中、工期短縮を念頭にトンネル内の工種をＬ型街渠　円形水路　連続鉄筋コンクリート舗装と多岐にわたる工種で取り入れられており、今後の本協会員の取り組みと、良質な施工が期待されております。

（ケイコン株式会社　人見猪一郎）

発 注 者　近畿地方整備局　福知山河川国道事務所
発注工種　円形水路（約 7,000ｍ）
工 事 名　丹波綾部道路　須知トンネル舗装工事（施工中）
工 事 名　丹波綾部道路　出合トンネル外舗装工事（施工中）
工 事 名　瑞穂トンネル水呑地区舗装工事
工 事 名　瑞穂トンネル大簗地区舗装工事

施工状況



施工断面図例

国道バイパス工事における スリップフォーム工法の浸透

1. はじめに

香川県東かがわ市における用・排水構造物のスリップフォーム施工事例を紹介します。

工事は国道 11 号線バイパス工事であり、通例では延長の短いエプロン施工にスリップフォーム工法を用いることは少ないが、円形水路、L 型街渠、縁石を含めた全ての排水構造物を施工することにした。

今回紹介する事例は、エプロン施工における乗り入れ切り下げ部スリップフォーム施工困難箇所を人力型枠施工とせず、従来は型枠施工をしていた箇所もモールドの改造により一連で施工したものです。

このことにより、さらなる工期の短縮を図ることができました。

2. 工事概要

工事名	湊舗装工事
発注者	国土交通省四国地方整備局 香川河川国道事務所
事業箇所	東かがわ市湊地先 ～東かがわ市川東地先 （国道 11 号バイパス）
請負者	株式会社ガイアートＴ・Ｋ 四国支店
施工者	末広産業株式会社
工事期間	平成 26 年 3 月 31 日 ～平成 27 年 3 月 20 日
施工数量	エプロンＬ＝339m （うち切り下げ部 43m） トンネル円形水路グレーチング付きＬ＝595m トンネルＬ型街渠Ｌ＝595m トンネル縁石（Ｈ＝250） Ｌ＝595m
施工時期	平成 26 年 8 月

特徴：工事区内のコンクリート構造物の完全 SF 化とダメ無し施工による工期短縮、省力、省コスト化

施工状況

3. 施　工

施工時間は 9：00 ～ 17：00 という制約があり、効率的に作業を進める計画を立案した。

成形機搬入組立、センサーライン設置、トリミング走行を 2 日間、コンクリート成形施工を 2 日間で完了した。エプロン形状は、厚さ 250mm、幅 750mm、切り下げ箇所は縁石基礎部のみ 50mm 下げて施工した。（図－１参照）

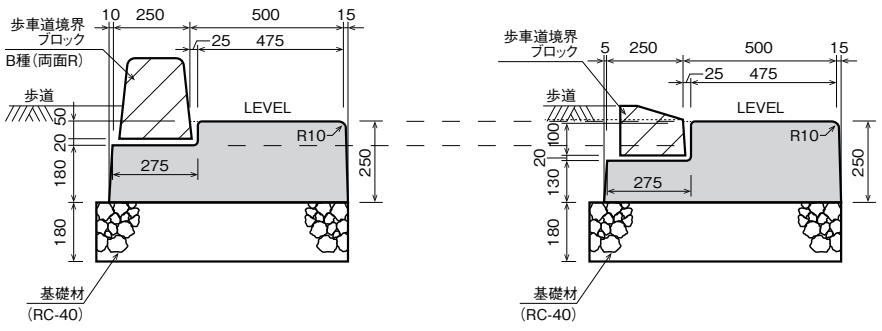
今迄にもモールドに油圧シリンダーを追加しスライド施工をした実績はあったが、今回の事例はモールドをスライド機構で下降させ施工するところに難度があった。

こうして人力型枠施工をしていたエプロン切り下げ箇所も連続的に施工し、完全ダメ無し施工を図る事ができた。

エプロン部の施工を最初に完了させることで、その後の路盤、舗装、客土工のマーカー的役割を果たすことにも寄与した。

今後も施工延長の少ない現場にも積極的にスリップフォーム工法定着を図り SF 工法の更なる普及、浸透を目指します。

（末広産業株式会社　小林繁夫）



図－１　断面図

スリップフォーム工法による

大規模メガソーラー発電所アレイ施工

1. はじめに

最近浸透しつつある大規模ソーラーパワー発電所におけるアレイ基礎スリップフォーム工法施工について紹介いたします。

今回の工事は、8 万枚という膨大なソーラーパネル設置を控え、早期に発電事業を開始させるためにアレイ基礎施工をできる限り速やかに完了させることを求められました。

アレイ基礎形状は前側と後側で施工幅が異なる形状の設計です。モールドを交換する時間的ロスを避ける為、モールドを平面スライド構造に工夫し 1 基のモールドにて施工し、更なる工期の短縮に成功しました。

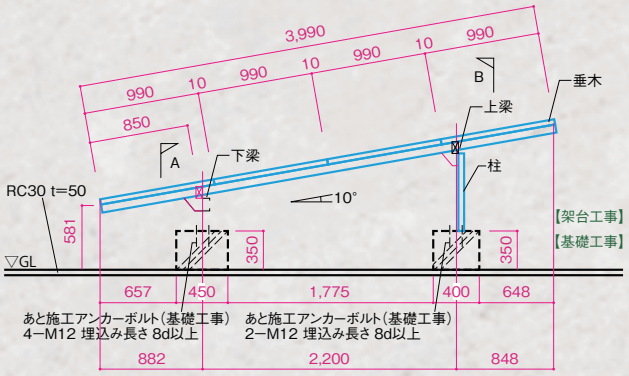
2. 工事概要

工事名	泉大津フェニックスメガソーラー発電所工事
発注者	京セラコミュニケーションシステム㈱
事業箇所	大阪府泉大津市
請負者	世紀東急工業株式会社
施工者	末広産業株式会社
工事期間	平成 25 年 9 月 11 日～平成 26 年 3 月 31 日
施工数量	W ＝ 450mm × T=350mm・L ＝ 66,943m W ＝ 400mm × T=350mm・L ＝ 66,943m

特徴：面積 203ha、大阪府最大のメガソーラー発電所、ソーラーパネル 8 万枚、出力 19.6MW、想定年間発電量 2068 万 kWh、一般家庭 5700 世帯の年間消費電力量に相当する

3. 施　工

施工断面は W ＝ 450mm × 350mm、W ＝ 400mm × 350mm の 2 種類です。(図－ 1 参照)



図－ 1　施工断面図

＜創意・工夫した点、留意した点＞

- 1 本のセンサーラインで 2 列の施工をまかない、省力化を図った。
- 施工時期は猛暑日が連続していたので、作業員の熱中症対策や休憩時間を考慮して施工した。
- 乾燥収縮クラックを防止する為、出来る限り早期に被膜養生剤を散布し散布量も工夫した。
- モールド横断方向スライド機構とバイブレーター位置を工夫し、時間的なロスを低減した。
- 施工延長が膨大な為、消耗部品等を入念に整備し、破損による施工不良を防止した。

厳しい施工環境のもとで工程より早期に完工できたことは、施工及び施工環境対策に様々な御尽力をくださった元方会社の皆様に深く感謝を申し上げます。

（末広産業株式会社　青島正高）

会長に藪田氏　SF工法協会

日本スリップフォーム工法協会は、6月24日、ベルサール新宿グランドコンファレンスセンターで第22回通常総会を開催した。

議案審議に先立ち、小林将志会長は大要次のようにあいさつした。

「政権が交代してから日本経済は好況で、特に我々建設業界は、復興需要、民需等々、かなりの活況を呈している。しかし、最近話題になっている人手不足、特に技能工の不足、我々業界で言えば原油高に多少の不安を抱いている。そのような状況の中、当協会はある意味でチャンスである。同工法は、省力化とコンクリートを使うことが目玉であり、我々全員が技術の普及と、練度を高めることに傾注していく必要がある。

もう一つは、設備、機械類が大変古くなっているので、設備投資を含め、機械の更新、開発に注力していく必要がある」

議事は小林会長を議長に進められ、全議案が原案通り承認された。第3号議案役員選任の件で、新会長に藪田英俊氏（大成ロテック代表取締役社長）が選任された。

総会終了後の懇親会で、藪田新会長は次のようにあいさつした。

「建設業界は追い風にありながら人手不足などの問題も抱えている。我々建設業者が適正な利潤を得られる良い環境に向かっていけるよう願っている。先日の道建協と国土交通省整備局との意見交換会で、発注の推進と設計・施工指針、積算の見直しのお願いを行ってきた。コンクリート舗装はLCCという長所があるが、アスファルト舗装に比べて養生期間が長く、開放までの待ち時間が長いというデメリットがある。近年は1DAY PAVEという新技術も開発され、コンクリート舗装の採用は高まると思う。皆様と共にコンクリート舗装、スリップフォーム工法の普及に努力していきたいと思っている」

藪田英俊会長

また、来賓を代表して、セメント協会・時政宏常務理事、全国生コンクリート工業組合連合会・鈴木一雄常務理事があいさつした。

スリップフォーム工法　工種別施工実績

（2014年5月8日現在）

工種＼年度	単位	2011年度	2012年度	2013年度	累計（施工当初より）
防護柵	m	74,488	5,289	2,872	395,458
ロールドガッター	m	19,841	37,028	15,477	3,015,637
円形水路	m	56,423	94,990	67,010	1,698,008
監視員通路	m	21,397	0	0	178,197
縁石	m	54,131	20,160	27,126	1,250,176
L型街渠	m	1,497	3,989	1,804	355,247
排水路（皿型排水含む）	m	10,940	2,011	391	172,930
（空港における皿型排水のみ）	m				16,203
舗装	m^2	1,255,430	903,843	712,807	9,779,019
（内、空港舗装工事）	m^2	66,351	125,447	90,812	2,009,978
鉄道建設　路盤鉄筋	m^2	0	0	11,780	899,901
りょう盤コンクリート	m		997		997
その他　コンクリートシール他	m^2	1,328	7,517	15,256	82,323
構造物等基礎（防護柵・ソーラー）	m	6,346	22,478	580,977	773,022
合計　構造物	m	245,063	186,942	695,657	7,855,875
合計　舗装（空港舗装を含む）	m^2	1,256,758	911,360	739,843	12,771,221
合計　構造物以外（空港を除く）	m^2	1,190,407	785,913	649,031	10,761,243

発注者別施工実績

（2014年5月8日現在）

発注者名	件数（単位：件） 2011年度	2012年度	2013年度	累計
国土交通省（旧北海道開発庁を含む）	56	98	56	784
内閣府	1	0	0	7
空港株式会社（旧運輸省を含む）		0	0	5
防衛省（防衛施設庁を含む）	1	1	2	16
高速道路株式会社（首都高・阪神・本四公団を含む）	56	70	40	1,728
都市再生機構（旧都市基盤整備公団・旧住宅都市整備公団を含む）	5	2	4	104
鉄道建設・運輸施設整備支援機構（旧日本鉄道建設公団を含む）		1	1	52
森林総合研究所（旧緑資源公団を含む）		0	0	2
都道府県市町村（県道路公団を含む）	7	2	12	138
民間		5	15	67
その他		2	1	32
外国			0	3
合計	126	181	131	2,938

編 集 後 記

建設業界は、中期的には東北震災復旧や東京オリンピック・パラリンピック関連事業により事業量は増大すると予想されますが、長期的には国土強靭化等が計画されているものの公共事業量は横ばいないし、次第に減少する可能性があります。

こういう状況の下、我々会員はオリンピックまでに、長期耐久性・LCC に優れたコンクリート舗装及び省人力・工期短縮が特色である SF 工法の広報・普及に尽力し、オリンピック後も継続した採用に向けて努力する必要があります。

さて、本号ではＰＧＦ協会荒川会長の巻頭言、NEXCO 中日本豊田工事事務所における SF 工法紹介及び同現場見学会を始め、舗装 3 編、及び構造物 3 編の施工紹介、第 22 回通常総会（薮田新会長就任）、施工実績の内容となっています。

（フジタ道路㈱　構口武志）

お 願 い

本誌をお届けしております事業所・部署の所在地や名称、担当者様に変更がございましたら、協会事務局（下記連絡先）までお知らせくださいますよう、よろしくお願いいたします。

TEL. 03 - 5925 - 9437　FAX. 03 - 3362 - 5808　Email jsf_slipform@taiseirotec.co.jp

日本スリップフォーム工法協会

■正会員

近江道路土木株式会社
大林道路株式会社
株式会社ガイアートＴ・Ｋ
鹿島道路株式会社
ケイコン株式会社
有限会社こやな川
株式会社佐藤渡辺
株式会社　昭建
末広産業株式会社
世紀東急工業株式会社
大成ロテック株式会社
泰明工業株式会社
株式会社竹中道路
地崎道路株式会社
東亜道路工業株式会社
東京鋪装工業株式会社
常盤工業株式会社
日本道路株式会社
株式会社 NIPPO
福田道路株式会社
フジタ道路株式会社
前田道路株式会社
三井住建道路株式会社
ワールド開発工業株式会社

（五十音順）

■賛助会員

一般社団法人セメント協会
全国生コンクリート工業組合連合会
アオイ化学工業株式会社
株式会社アドヴァンス
株式会社以輪富
ヴィルトゲン・ジャパン株式会社
株式会社ソーキ
マシンケアテック株式会社

当協会のホームページをご覧ください

スリップフォーム工法の概要や特徴、コンクリート舗装をはじめ各種構造物の施工方法と施工事例、工法に関する Q&A など役立つ情報を満載した当協会のホームページをご覧ください。

http://www.nsfa.jp/　　たくさんのアクセスをお待ちしております。

スリップフォーム　第 31 号　　2014 年 11 月発行

■発行：日本スリップフォーム工法協会
〒 160-6112　東京都新宿区西新宿 8 丁目 17 番 1 号　住友不動産新宿グランドタワー 12 階
（大成ロテック株式会社内）
電話　03-5925-9437　　FAX　03-3362-5808　　Email　jsf_slipform@taiseirotec.co.jp
■制作：株式会社コンクリート新聞社